2025年(令和7年) 1月15日

蒲郡文化

No.235
蒲郡市栄町3番30号
蒲郡市文化協会
TEL・FAX(0533)68-5509
URL http://www.gamagorishibunkyo.jp
E-mail g.bunka@lion.ocn.ne.jp

市制70周年記念「愛知県民茶会」開催

於：蒲郡市民会館

10月13日㈰愛知県民茶会が、市民会館全体を使って行われました。この茶会は愛知県内で年1回催され、県文連として大きな事業のひとつです。今年は市制70周年と云う事もあり、記念事業として実に16年ぶりの蒲郡開催となりました。蒲郡雅楽倶楽部の演舞に始まり、多くの来賓を迎えて開会式が行われました。茶席は三河地方の8市（岡崎、刈谷、安城、知立、西尾、豊橋、豊川、蒲郡）で10席が設けられ、趣向を凝らした席で多くのお客さんに楽しんで頂きました。

当日の天候は晴れで、まだ少し暑いくらいの陽気でした。尾張地方からもバス等で多数の来客があり、茶道に対する関心の高さが感じられました。1日限りの茶会でしたが、のべ来客数4,926人と大変多くの来客があり、終了予定の午後3時以前にお菓子がなくなってしまう席がほとんどで予想を超える来客でした。

西尾　宗偏流

蒲郡　表千家

蒲郡　裏千家

刈谷　表千家

安城　宗偏流

岡崎　宗偏流

豊橋　茶道宗偏吉田流

知立　宗偏流

豊川　裏千家

岡崎　売茶流

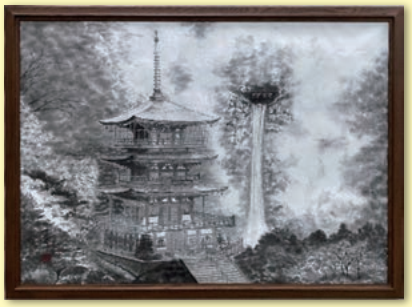
第49回 県文連美術展　入賞作品

愛知県美術館　令和６年11月19日㈫～ 11月24日㈰ 《蒲郡市文協関係》

部門大賞「風化」　内田　明美

特選「雲龍」　日高　一樹

入選「朝もや」
田中　草紫

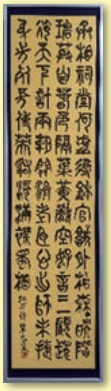


入選「霞む熊野霊場」
牧原　清峰

入選「豊川」
山田　俊行

入選「山稜」
杉浦　　才

入選「継色紙」
近藤　向華



入選「蜀相(杜甫詩)」
杉田　翠風

11月24日㈰に表彰式が行われ、部門大賞に内田明美さんが、特選に日高一樹さんが選ばれました。
その他６人の方が入選されました。おめでとうございます。

学芸員のつぶやき(3)

みかんのまち

今年は蒲郡市制施行70周年記念の年。博物館では、年間３本の企画展を開催していますが、２月15日から３月23日まで、今年度最後の企画展「がまごおりとみかん」展を開催します。

蒲郡の代名詞「みかん」。みかんの歴史は古く、日本書紀や万葉集の中に柑橘類の橘（たちばな）が登場しています。古来、橘は「非時香菓」（ときじくのかくのこのみ）、時を選ばずに香る果実と表現され、実と共にその爽やかな香りを楽しむものだったようです。

蒲郡では、今から340年ほど前の延宝７年（1679年）、五井村の「田畑新切帳」に「弐拾歩蜜柑弐本」という記載があります。新切帳は、新しく切り開かれた土地（新切）の台帳のことで、江戸時代前期に蒲郡でみかんが生産されていたことを伝えています。江戸後期（天保年間）に幡豆町から温州みかんが移入されると、明治時代には「西郡みかん」「神ノ郷みかん」の名前で各地に知られるようになりました。

昭和５年に結成された三州蜜柑出荷組合連合会の頃に使われた「三州蜜柑」のラベル。

その後、第２次大戦中の生産統制後には柑橘組合を結成、昭和40年代の生産過剰時代にはいち早くハウスミカンを導入するなど、蒲郡のみかん農家は困難の時期を乗り越え、現在の蒲郡ブランドを作り上げてきました。

平成元年に登場した「箱入娘」も、差別化みかんの栽培競争の中で誕生しました。技術員の園地査定に合格した園のみで栽培された、宮川早生種、糖度12度以上、酸度1.2パーセント以下の露地みかんです。厳しい基準に合格したみかんは甘味、酸味とも抜群で、冬の贈答用として広く親しまれています。

（博物館学芸員　松田　繁）

・●● 会員ピアザ ●●・

第58回硯山書院一門展

９月14・15日に市民会館東ホールで一門展が開催されました。幼児～中学生の学生の部、高校生～一般の部による硬筆、毛筆の展示が行われました。

全三河書道百選展

岡崎展９月24日～29日、豊橋展10月９日～13日に行われ、文協会員からは５人の出品がありました。

月例茶会

裏千家 鈴木宗和

まだまだ暑かった今年の夏の９月22日に行われ、79人の来客がありました。

観月茶会

９月17・18日

お天気にも恵まれ、松の木の間から綺麗な月が見えました。

市　民

開会式典
中ホール
11月1日　10時～

アトラクション

落語会　大会議室　11月4日

駒久家南朝（つげ耳鼻咽喉科院長）による落語「蒲郡駅前物語」と「竹島水族館物語」の２題を聞いていただきました。

市民茶会　11月3日

三興庵　　表千家
大会議室　裏千家

10月に県民茶会があったせいか、来場者202人といつもより少ない茶会でした。

俳句会入賞者【募集句の部】

愛知県教育委員会賞　鬼頭　幸子
介護士のやはらかき手や秋の蝶

愛知県文化協会連合会賞　嶋田　由美子
秋蝶の息を吐くかに翅広ぐ

蒲郡市長賞　牧野　一古
海割れて島まで歩く秋日傘

蒲郡市議会議長賞　小林　道子
夏帽子大きくまわし出港す

蒲郡市教育委員会賞　小田二三枝
押し合ひて餌を食む仔山羊今朝の秋

蒲郡市文化協会長賞　中村　達
ＡＩになき温もりや残り稲架

俳句入賞者【当日句の部】

愛知県議会議長賞　林　美智子
五指折りて学ぶ日々なり今朝の冬

蒲郡市長賞　小田二三枝
落日のひかりの帯に鴨群るる

蒲郡市議会議長賞　小田かず子
母の忌や湯気ごと供ふ諸の粥

蒲郡市教育委員会賞　長崎マユミ
ふくよかな童地蔵や石蕗の花

蒲郡市文化協会長賞　小野田初枝
補聴器をはずす静寂や秋深し

文化祭

書道工芸展
東ホール
11月1日～4日

出品点数
書道　159点
工芸　65点
参観者数　651名

「盆石」は、初日に会場で作品を作るので完成までの過程を、興味を持ってみて頂ける。
書は、子供作品を増やしたことで家族連れの参観者が多くいた。

華道展
東ホール
11月16・17日

出品点数　46点
参観者数　625名

いろいろと考えられた作品が多く、多くの人が真剣に見ていたが、出品点数が少し少ないのが残念だった。

水石展
中会議室
11月16・17日

出品点数　29点
参観者数　172名

自然の石なのに、動物や仏を想像され、楽しい展示になっていた。

川柳入賞者【募集句の部】

蒲郡市議会議長賞　伊藤　健司
九条より節気変えたいこの暑さ

蒲郡市教育委員会賞　来本　芳子
店長の笑顔を買いに行くお店

菊花展賞

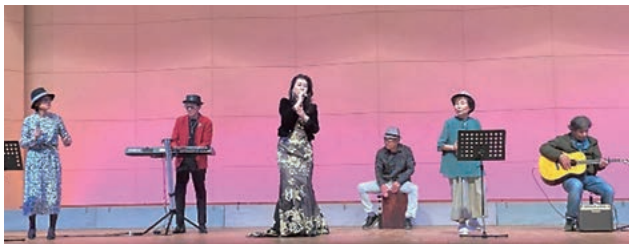
愛知県議会議長賞	羽田喜久司
愛知県教育委員会賞	河井　宏幸
愛知県文化協会連合会賞	田島　道秋
蒲郡市長賞	小田　安秋
蒲郡市議会議長賞	小林　春枝
蒲郡市農業協同組合長賞	村松　捷二
蒲郡商工会議所会頭賞	稲石　アキ
蒲郡信用金庫理事長賞	樋山　利枝
中日新聞社賞	竹内　正喜
蒲郡市教育委員会賞	野沢　良雄
蒲郡市教育委員会賞	白川　元重
蒲郡市文化協会長賞	金田　武久
蒲郡市文化協会長賞	児玉　守正

芸能発表会
中ホール
11月2日・3日

民謡では俵を担いで入場したり、詩吟では結婚式の写真をプロジェクターで写したりして、見た目にも楽しい発表会でした。

洋楽発表会　大ホール
11月17日

蒲郡市民の歌から始まり、今年から蒲郡ジャズ協会が新しく入り、全８団体の発表会でした。



箏曲演奏会　中ホール
11月23日

朝10時から夕方4時半まで全22曲の演奏で、箏、尺八、三絃のしっとりと落ち着いた演奏でした。

短歌会入賞者

愛知県教育委員会賞　**中村　文子**
算数の応用問題解くごとく
詰め放題のじやがいも入れる

愛知県文化協会連合会賞　**菅沼　好恵**
梅雨入りのいとまに手提げ作らんと
夫のネクタイ二本をほどく

蒲郡市長賞　**太田　文子**
帯広の大学に学ぶわが女孫
今日も飼料のじやがいもを掘る

蒲郡市議会議長賞　**堀井　道子**
外壁の塗装の大将八十歳
汗にまみれて足場下りくる

蒲郡市教育委員会賞　**本多　礼子**
蜜柑山を山に戻すと植ゑし木の
枝打ち励みし老いを偲びぬ

蒲郡市教育委員会賞　**橋本満寿代**
高次脳機能障害ある夫
いつも明日がはじめの一歩

蒲郡市文化協会長賞　**牧原　正枝**
ありったけ布団並べし盆に暮れ
昭和のふとん断捨離せよと

蒲郡市文化協会長賞　**大武　智子**
担当の看護学生初々し
学ばせて貰ふと今日も言ひたり

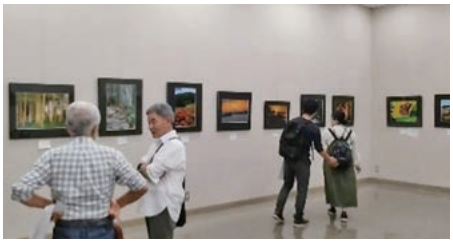
佳作　伊藤健司　鈴木志満江　鈴木憲治
俵　朝子　小野田初枝

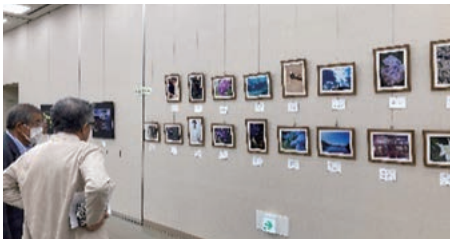
文化祭

博物館ギャラリー会場

写真展
11月1日～4日

出品点数　80点
参観者数　518名



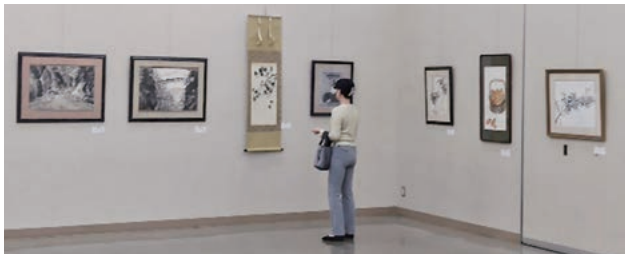


高校生作品の展示があったり、写真のコメントがあったりして、親しみやすい展示でした。次週展示の絵画作品のPRもしました。

水墨画展
11月15日～17日

出品点数　60点
参観者数　315名

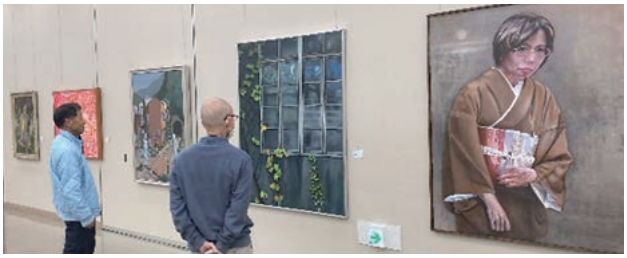
恒例となった体験コーナーでは、かわいらしくアレンジされた来年の干支の巳などを描いていました。



絵画展
11月22日～24日

出品点数　44点
参観者数　283名

大きな人物画、写実的な風景画や静物画などバラエティ豊かな展示でした。



文化財めぐり
近江神宮と紫式部ゆかりの石山寺を訪ねる

令和６年度の文協文化財めぐりは、滋賀県の石山寺と近江神宮を訪ねた。出発早々に渋滞に巻き込まれ１時間程の遅れがあったが、降っていた小雨も止み天気予報ほどの寒さもなくまずまずの日和となった。

先に訪ねた石山寺は、瀬田川に臨み天然記念物の硅灰石が露出した見事な景色と中秋の名月で知られる。紫式部は、石山寺へ参籠の折に琵琶湖に映った十五夜の月を見て「源氏物語」の着想を得たとつたえられる。

源氏苑には紫式部像と本堂一角には「源氏物語」を起筆したとされる源氏の間があり花頭窓より覗き見ることが出来る。上にある芭蕉句碑は源氏の間を拝観して詠んだという。

大河ドラマ館は「光る君へ」のドラマを見ていなくても衣装の鮮やかな色彩や小道具を見て楽しめる。石段には苦戦したものの、見ごろではなかったが紅葉も楽しめた。

次に訪ねた近江神宮は、天智天皇を祀る神社である。ご鎮座は昭和15年11月７日で神社としての歴

史は新しい。山麓の斜面に本殿、内外拝殿を回廊が取り囲み国の登録文化財となっている。

境内には、古代火時計や時報を始めたとされる漏刻（水時計）がある。時計博物館があり各種の古時計を見ることが出来た。

近江神宮が、かるたの殿堂と言われることもあり、境内には奉納された板かるたが展示されている。ゆっくり読んでみたいものだ。源氏物語･俳句･百人一首と日本の文学に触れることの出来た一日だった。文協らしい企画と言えそうだ。

参加して下さった皆様のご協力により朝の遅れは取り戻せほぼ予定通りに無事に帰着。有難うございました。

お　知　ら　せ

第13回　文化事業

2月16日(日)

市民会館大ホール

開場13：15　開演14：00

《チケット発売中》

前売券　1,000円（18歳以下500円）
当日券　1,500円（18歳以下700円）

文協事務局又は市民会館窓口にて
文協☎0533-68-5509 / 会館☎0533-67-5151

10月13日(日)県民茶会が盛会のうちに無事終了いたしました。会員の皆さまのご協力ありがとうございました。

特別会員 追加のご連絡
形原公民館俳句教室 様（１口）
ご加入いただき、ありがとうございます。

図書館の催し物　（問合せ TEL69−3706）	
新春企画「コマと絵馬」	1月　4日(土)～1月26日(日)
認知症予防体操	1月10日(金)　2月14日(金)　3月14日(金)
英文多読ひろば	1月12日(日)　2月　9日(日)　3月　9日(日)
切り絵展	2月　1日(土)～2月11日(火・祝)
JICA国際協力書籍＆写真展	2月　2日(日)～2月24日(月・祝)
ボードゲームで遊ぼう！	2月　2日(日)
ねこのおはなし会	2月22日(土)
大人のためのゆるーい読書会	2月23日(日)
春の特別展　おはなしおばさんのかわいい仲間たち展	3月　1日(土)～3月30日(日)
博物館の催し物　（問合せ TEL68−1881）	
昔の遊びコーナー	1月　5日(日)～1月26日(日)
「蒲郡っ子」作品展	1月24日(金)～1月26日(日)
ミニ展示「ひなまつり」	2月　1日(土)～3月　9日(日)
プラモデル展	2月15日(土)～2月16日(日)
蒲郡市制70周年記念企画展「がまごおりとみかん」	2月15日(土)～3月23日(日)
第40回写真集団『雲』作品展	2月19日(水)～2月23日(日)
開運の招き猫版画を刷る	2月22日(土)
和紙ちぎり絵（恭和会）展示会	3月　8日(土)～3月　9日(日)
第22回手織場展	3月21日(金)～3月23日(日)
市民会館の催し物　（問合せ TEL68−5509）	
月例茶会	2月16日(日)
月例茶会	3月23日(日)